



みんながドキドキわくわく。たくさんのおいしさが日田愛。今号は、子供向けの舞台鑑賞や体験事業を行うNPO法人日田子ども劇場を紹介します。



◆子ども劇場の成り立ち

芸術活動に触れ、創造性豊かな子供が育つ場をつくりたい！との思いで50年前に全国で始まった子ども劇場。最大700法人の広がりを見せ、その思いに共感し、日田子ども劇場も32年前に設立した。

◆現在の課題は？

「会員数が減ってしまう」と、どうしても舞台を呼ぶ資金が不足してしまうので、運営の工面が大変です」と事務局の梶原さん。日田子ども劇場設立時には500人以上いた会員も、少子化の影響などで現在は140人ほどに減少。大きな舞台を見ることが難しくなっている。

◆みんなの居場所

「みんながドキドキわくわくしながら過ごして、たくさんのおいしさを味わってほしい。」

れる場所になってくれたら」と代表の吉武さんは語る。会員の中には、3世代にわたって子ども劇場の活動に参加してくれる人もいます。また、子供だけでなく子育てで悩んだお母さんたちが気軽に悩みを相談できる場にもなっている。



8月4日(日)に舞台演劇、8月17日(土)・18日(日)にキャンプを予定しています。興味がある人は下記にお問い合わせください。
 ☎NPO法人日田子ども劇場 ☎0191
 ✉hitakodomo@view.ocn.ne.jp

図書館に行こう 淡窓図書館 ☎2497 開館時間：午前9時～午後7時（日曜日、祝日は午後6時まで）

大好き図書館！ 夏休みの宿題は図書館でいかが？

夏休みもう半ば。工作や自由研究の内容は決まりましたか？こんな時こそ図書館を活用しましょう。例えば、こんなことができますよ。

図書館の本で「金魚の貯金箱」を作ってみました

■参考にした本
 「リサイクルで作る小学生の楽しい工作」
 成美堂出版編集部／編 成美堂出版



▲金魚の貯金箱

■作製時のポイント
 本の通りだとアイスクリームの空き容器を使いますが、今回は紙コップで作ってみました。ポンドが固まるのに少し時間がかかりましたが、うまくできました。

読書感想画コンクール指定図書・読書感想文コンクール課題図書の貸出しについて

8月31日(土)まで、指定図書・課題図書の貸出しはそれぞれ1人1冊までです。夏休み後半は貸出し希望者で混みますので、お早めにご利用ください。

新刊情報

イラスト&図解
 知識ゼロでも楽しく読める！
 物理のしくみ
 川村康文／監修
 西東社



一番わかりやすい物理の本。どうして地球は回るのか？飛行機はどうやって飛んでいる？空はどうして青いのか？など、身近なことだが仕組みがわからない現象を、オールカラー・豊富なイラスト&図解で、丁寧に解説する。

おいでよ！おはなし会

□とき
 8月10日(土) 午後3時～
 8月24日(土) 午前11時～
 □ところ
 児童コーナー

8月の休館日(○…休館日)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

障がいへの理解

心の架け橋

仕事がしたい～身体障がいの人の事例～

両足の障がいで車椅子を利用している人が、求人票に事務の仕事を見つけたので連絡をしたところ、「車椅子の人を雇ったことがなく、他の従業員との仕事の兼ね合いもあるので、難しいかもしれない」と言われました。はっきりと断られたわけではないのですが、気兼ねし、就職を諦めました。

●不当な差別的取扱い

今回の事例は、はっきりとした表現を使っていません。しかし、車椅子を利用している人には「車椅子の人が就職されては困る」と感じる表現となっており、結果的に就職を諦めています。正当な理由なく、車椅子というだけで、就職に関し区別、排除することは差別に当たります。

●合理的配慮（それぞれの配慮と対応の仕方の一例）

障がいのある人がない人と同じように、就職活動ができるように配慮をすることが大切です。そのため「車椅子だから」ではなく、まずは「どんな人なのか、どんな仕事ができるのか」を採用の基準に考えます。

職場環境において「段差がある、車椅子の人が使えるトイレがない、車椅子が通れるスペースがない」などの物理的な課題がある場合は、負担のない範囲で対応できることを考えることが配慮となります。障がい者を雇用する場合は、作業施設等を整備するための資金の助成制度などもありますのでご利用ください。

☎社会福祉課障害福祉係 ☎28290（市役所1階）

地域おこし協力隊活動④

地域を盛り上げます！

今回は上津江振興局に所属している古賀さんを紹介します！



かおる 古賀香織さん

平成30年11月に「道の駅せらぎ郷かみつえ」の振興を目的に上津江に着任した古賀と申します。昨年、初めて立ち寄った同道の駅で味わたわさびソフトクリームに感激していたら、次の日の大分移住フェアで地域おこし協力隊の制度と、道の駅振興担当募集のことで知り、太宰府市から上津江町に飛び込んできました。前職はスーパーの店員でしたが、以前は福岡のパン屋で7年程働いていました。その間に調理学校に通い、今はそのときに学んだ技術と知識で、道の駅で提供する新商品の開発をしています。とはいえまだまだ未熟者、いろんな方々に支えられて少しずつ形を作っている最中です。道の駅の川辺はとっても涼しいですよ。是非「涼」を取りに来てください！どうぞよろしくお願いたします。



▲新商品の試行錯誤中